



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011~2012 RIテーマ

WEEKLY REPORT YAIZU ROTARY CLUB



奉仕の実践 (焼津ロータリークラブ会長テーマ)

会長: 松村友吉 幹事: 小野田孝美 例会日/毎週木曜日 12:30~13:30 毎月最終木曜日 18:00~19:00(11月~3月除)
会長エレクト: 多々良浩吉 副幹事: 浅原博 例会場/焼津鯉節会館2階ホール TEL 629-4850
事務所/焼津市焼津5丁目16-16 TEL 629-4850 FAX 628-7669

第 2498 回例会 No 6 2011~2012 8月18日 会報担当 秋山和幸

「ガバナー公式訪問」

◆ 司会者 幹事 小野田孝美 君
南 RC 幹事 小梁博治 君

◆ 開会の点鐘
焼津南 RC 会長 久保田誠 君

◆ ROTARY-SONG
○ 「奉仕の理想」
焼津南 RC ソングリーダー 新美一雄 君

○ 「今、潮騒のまちへ」
焼津 RC ソングリーダー 大井基明 君

◆ お客様の紹介
焼津南 RC 幹事 小梁博治 君



- ・国際ロータリー第 2620 地区ガバナー 積惟貞 君
- ・国際ロータリー第 2620 地区ガバナー 静岡第 5 分区ガバナー補佐 石垣徳夫 君
- ・国際ロータリー第 2620 地区ガバナー 副幹事 實石学 君

◆ 会長挨拶
焼津南 RC 会長 久保田誠 君
本日は、国際ロータリー第 2620 地区・積惟貞ガバナー、静岡第五分区石垣徳夫ガバナー補佐、實石学・地区副幹事をお迎えしての焼津・焼津南クラブの合同公式訪問例会です。例会に先立ちまして 10 時から焼



津クラブ、そして 11 時より焼津南クラブの会長幹事会が行われ、積惟貞ガバナーより貴重なアドバイスを頂きました。その事を今後のクラブ運営に役立てていきたいと思っております。有難う御座いました。

ここで積惟貞ガバナーのご紹介をさせていただきます。積惟貞ガバナーは 1936 年 1 月 23 日のお生まれです。職業分類は外科医、ロータリー歴は 1985 年沼津 RC 入会、2003~2004 年沼津 RC 会長。それからロータリーの友地区委員、マルチプル・ポールハリスフェロー、ベネファクター、米山功労者。

沼津 RC は今年度創立 60 周年記念をお迎えになります。そしてガバナー輩出はお二人目です。

また地域奉仕につきましては、沼津市教育委員長、同じく市民憲章推進協議会長、同じく建築審査会などの公職にお付きです。また社会奉仕の一環として 1965 年に発足した「千本を良くする会」の第 7 代会長。これは沼津のシンボルでもあります、千本松原の保全と美化に、ご夫人と一緒に参加をされています。

もう一点はお酒を一滴もお飲みになりませんが宴会には必ず参加をして頂けるということです。

以上、簡単ではありますが、ご紹介をさせていただきました。

積ガバナーには後程、講話にてご指導頂くことになっておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◆ 幹事報告

焼津南 RC 幹事 小 梁 博 治 君

焼津 RC 幹事 小 野 田 孝 美 君

- ① 次週例会は、会員増強委員会のクラブフォーラムで、午後 12 時 30 分点鐘となりますのでお間違いの無い様、宜しくお願い致します。夜間例会ではございません。

◆ ガバナー講話

卓話者：国際ロータリー第 2620 地区ガバナー
積 惟 貞 君

演 題：「ガバナー方針伝達」



本日は焼津、焼津南
両クラブの公式訪問
でお邪魔しております。
私は沼津の漁師町
で育ちまして港や海
の香りは大好きで、焼

津の町にも大変な親近感を持っております。焼津、焼津南クラブ共にそれぞれ松村、久保田両会長のもと極めてしっかりしたクラブ運営がなされており、関心いたしました。これからも会長を中心に活発なクラブの活動をなさるようお願い申し上げます。

さてカルヤン・パネルジー RI 会長のテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広めるために」であります。レイ・クリンギン・スミス直前会長のカーボーイ・ロジックを芯とする外に向かった積極性に対して、パネルジー会長はインドの伝統的思考、「梵我一如」の宇宙観が基本にあると勝手に推察し、ロータリー活動のためには先ず自分自身を高めよとされているものと思います。「家族」「継続」「変化」の重点項目の中でとくに強調されたのが「家族」でありました。

「家族がコミュニティーの基礎であり民族の盛衰は家族の健全にかかっている。」との考えはマルチン・ルター以来職業重視とともにプロテスタントの基本的思想でもあります。ロータリー活動の中に家族の参加を出来る限り試みることにに関して両クラブ共に積極的にクラブ行事に取り組んでいらっしゃるようですが、さらに多くの行事に家族の参加を試みることは RI 会長のテーマに沿ったもので推奨されます。

さて前年度から RI の長期計画に従って中山直前ガバナーがさまざまな当地区の方針を決定し実行された上で私に引き継がれました。当然私はそのレールの上に乗って今年度の事業を施行する立場と認識しておりました。現在もその方針は変わってはおりません。

しかし本年 3 月の大震災で事情が変わった部分があります。直前ガバナー会では前年度集められた基金をもとに被災遺児に対する育英資金とファイブフオーワンと称する被災クラブ救済制度を確立されました。しかし今年度は R 財団の小澤トラスティーが日本だけの東日本震災復興日本委員会を立ち上げ、機動的に被災地支援に取り掛かっています。今年度は諸般の事情を踏まえ、こちらに資金を統一することが有用と判断しております。いずれにせよ息の長い支援活動を維持することが必要と思われるのでご協力いただきたく存じます。

私自身は基本的にロータリーの親睦と職業奉仕に軸足を置いた思考の持ち主であります。そして例会を重視します。ロータリアンは例会を中心に自身を磨き、どこかに気高く美しい何かを持つ必要があると思います。若者に尊敬の念を持たれるようなロータリアンを目指す努力も必要です。

◆ 謝辞 焼津 RC 会長 松村友吉君



◆ 出席報告

	会員数	出席数	出席率	7月28日 M-UP	確定 出席率
8月18日	53(52)	41名	78.85%	2名	88.41%

◆ メークアップ

- ・近藤吉典君 (藤枝南 RC)
- ・倉嶋伸康君 (静岡東 RC)

◆ 閉会の点鐘

焼津 RC 会長 松村友吉君

◆ 例会前のガバナーとの会長幹事会

